

6 市場事業

(1) 事業数

令和4年度における市場事業の事業数は、下記の7事業9施設で、いずれも法非適用事業であり、前年度と同数となっている。

市場種別	団体名	市場名
中央卸売市場 (1事業2施設)	仙台市	仙台市中央卸売市場本場(青果・水産物・花き) 仙台市中央卸売市場食肉市場
地方卸売市場 (6事業7施設)	石巻市	石巻市水産物地方卸売市場石巻売場 石巻市水産物地方卸売市場牡鹿売場
	塩竈市	地方卸売市場塩竈市魚市場
	気仙沼市	地方卸売市場気仙沼市魚市場
	大河原町	大河原町地方卸売市場(青果)
	女川町	女川町地方卸売市場(水産物)
	南三陸町	南三陸町地方卸売市場(水産物)

(2) 施設の利用状況

年間取扱高は41万9,332tで、前年度に比べ4万8,183t(10.3%)減少している。その内訳は、青果物が13万666t、水産物が26万6,262t、食肉・鶏卵・その他が2万2,404tとなっている。前年度に比べ青果物が1万1,634t(8.2%)、水産物が3万6,899t(12.2%)それぞれ減少しており、食肉・鶏卵・その他が350t(1.6%)増加している。

年間売上高は1,958億85百万円で、前年度に比べ19億83百万円(1.0%)増加している。その内訳は、青果物が347億67百万円、水産物が1,300億48百万円、食肉・鶏卵・その他が310億70百万円で、前年度に比べ青果物が14億7百万円(3.9%)減少し、水産物が20億65百万円(1.6%)、食肉・鶏卵・その他が13億25百万円(4.5%)それぞれ増加している。

また、市場関係業者数は卸売業者12社、仲卸業者141社、売買参加人が1,290人、関連事業者が41人となっている。

第1表 利用状況の推移

年 度		H30		R1		R2		R3		R4		対前年度比較	
		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		(1)	(%)	(2)	(%)	(2)-(1) (3)	((3)/(1)) ×100(%)
項 目													
取 扱 高 (t)	青 果 物	165,072	31.9	162,412	32.9	156,912	31.7	142,300	30.4	130,666	31.2	▲11,634	▲8.2
	水 産 物	330,339	63.7	309,462	62.7	315,595	63.8	303,161	64.8	266,262	63.5	▲36,899	▲12.2
	食肉・鶏卵・その他	22,787	4.4	22,038	4.5	22,541	4.6	22,054	4.7	22,404	5.3	350	1.6
	計	518,198	100.0	493,912	100.0	495,048	100.0	467,515	100.0	419,332	100.0	▲48,183	▲10.3
売 上 高 (百万円)	青 果 物	41,936	20.3	41,250	21.4	39,127	20.5	36,174	18.7	34,767	17.7	▲1,407	▲3.9
	水 産 物	134,732	65.2	123,507	64.0	122,903	64.5	127,983	66.0	130,048	66.4	2,065	1.6
	食肉・鶏卵・その他	30,059	14.5	28,262	14.6	28,593	15.0	29,745	15.3	31,070	15.9	1,325	4.5
	計	206,727	100.0	193,019	100.0	190,623	100.0	193,902	100.0	195,885	100.0	1,983	1.0
業 者 数	卸 売 業 者 (社)	14	-	14	-	13	-	12	-	12	-	0	0.0
	仲 卸 業 者 (社)	149	-	145	-	143	-	142	-	141	-	▲1	▲0.7
	売 買 参 加 人 (人)	1,439	-	1,380	-	1,347	-	1,322	-	1,290	-	▲32	▲2.4
	関 連 事 業 者 (人)	42	-	42	-	42	-	41	-	41	-	0	0.0

(注) 青果物は「野菜」+「果実」、水産物は「水産物」、食肉・鶏卵・その他は「肉類・鳥類・卵類」+「その他」をいう。

(3) 経営状況

市場事業の収益的収支における総収益は32億38百万円で、前年度に比べ2億71百万円(9.1%)増加しており、総費用は26億79百万円で、前年度に比べ3億4百万円(12.8%)増加している。この結果、収支差引では5億59百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が33百万円(5.5%)減少している。

また、資本的収支における収入は11億52百万円で、前年度に比べ6億97百万円(37.7%)減少しており、支出は17億20百万円で、前年度に比べ7億11百万円(29.2%)減少している。この結果、収支差引では5億68百万円の赤字となり、前年度に比べ赤字が14百万円(2.3%)減少している。

収益的収支と資本的収支を合わせた収支再差引は9百万円の赤字で、これに前年度からの繰越財源等を調整した実質収支は2百万円の黒字となり、前年度に比べ3百万円(62.0%)減少している。

なお、収益的収支比率は88.4%で、前年度に比べ2.1ポイント上昇している。

第2表 市場事業の収支状況の推移

(単位:百万円、%、人)

項 目		年 度	H30	R1	R2	R3	R4	対前年度比較	
								(1)	(2)
収 益 的 収 支	総 収 益 A	2,892	2,915	2,945	2,967	3,238	271	9.1	
	営 業 収 益	1,849	1,752	1,787	1,859	1,821	▲38	▲2.1	
	う 料 金 収 入	1,830	1,733	1,768	1,839	1,801	▲39	▲2.1	
	受 託 工 事 収 益	0	0	0	0	0	0	-	
	ち 所 の 他	19	19	20	20	20	0	2.4	
	営 業 外 収 益	1,043	1,162	1,158	1,108	1,417	309	27.9	
	う ち 他 会 計 繰 入 金	537	723	722	680	867	187	27.4	
	総 費 用 B	2,387	2,411	2,363	2,375	2,679	304	12.8	
	営 業 費 用	2,217	2,264	2,200	2,246	2,559	313	13.9	
	う ち 職 員 給 与 費	371	389	364	359	367	8	2.1	
	営 業 外 費 用	170	147	164	129	120	▲9	▲7.2	
う ち 支 払 利 息	159	140	124	111	100	▲11	▲9.8		
収 支 差 引 (A-B) C	505	504	582	592	559	▲33	▲5.5		
資 本 的 収 支	資 本 的 収 入 D	1,336	997	1,215	1,849	1,152	▲697	▲37.7	
	地 方 債	709	478	778	1,129	502	▲627	▲55.6	
	他 会 計 繰 入 金	507	475	435	468	411	▲56	▲12.0	
	工 事 負 担 金	0	0	0	0	0	0	-	
	国 ・ 県 補 助 金	117	42	0	251	237	▲14	▲5.5	
	そ の 他	2	2	3	2	2	▲0	▲3.0	
	資 本 的 支 出 E	1,840	1,500	1,820	2,431	1,720	▲711	▲29.2	
	建 設 改 良 費	831	522	822	1,368	734	▲634	▲46.3	
	地 方 債 償 還 金 e	1,004	976	994	1,061	984	▲77	▲7.3	
	そ の 他	5	2	4	2	2	▲0	▲13.3	
	収 支 差 引 (D-E) F	▲504	▲503	▲605	▲582	▲568	14	▲2.3	
収 支 再 差 引 (C+F) G	1	1	▲23	10	▲9	▲19	-		
積 立 金 H	7	4	4	4	5	0	8.9		
前 年 度 か ら の 繰 越 金 I	10	5	31	4	9	6	146.6		
前 年 度 繰 上 充 用 金 J	0	0	0	0	0	0	-		
形 式 収 支 (G-H+I-J) K	5	1	4	9	2	▲8	▲79.6		
翌 年 度 に 繰 越 す べ き 財 源 L	0	0	1	5	0	▲5	-		
実 質 収 支 (K-L)	5	1	3	5	2	▲3	▲62.0		
う ち 黒 字	5	1	3	5	2	▲3	▲62.0		
赤 字	0	0	0	0	0	0	-		
職 員 数	45	49	60	60	62	2	3.3		
収 益 的 収 支 比 率 A/(B+e)	85.3	86.1	87.7	86.4	88.4	2.1	-		